

# NOBEL ANNUAL REPORT 2023

子育てを  
「家族だけで」から  
「社会全体で」

認定NPO法人ノーベル 2023年度活動報告書

## ノーベルの団体理念

実現する未来

### VISION

子どもを産んでも  
当たり前に関われる社会

掲げる使命

### MISSION

たすけあえる  
仕掛けをつくる

大切にしている価値観

### VALUE

私たちは解決するまで  
前を向き寄り添い続ける



認定NPO法人ノーベル

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-4-12 中央内本町ビルディング701 [TEL]06-6940-4130 (平日9時~18時) [Web]<https://nponobel.jp/>

## 2023年を振り返って 代表からのメッセージ



### 試行錯誤の3年を経て、事業も組織も、光がみえた1年でした

コロナ禍の暗中模索の時を経て、主要事業である訪問型育児保育事業の立て直しにも光が見え始めた年でした。また、「働くスタッフがイキイキとこそ目指す未来を実現できる!」と思い、「経営において優先すべきを働き手にする」と誓ってから、組織のあり方を模索する日々が続きました。3年以上の時を経て、組織に変化が見られた年でもありました。スタッフたちがイキイキと働いている姿を見ることができて、ここまでこれて良かった...!と心から思っています。そして、コロナ禍により撤退した新事業も、改めて子育て家庭のニーズを知るために、約1年かけて調査を実施し、カタチを変え「子育て家族のまるごとサポート」としてリリースできました。諦めずに取り組んできたことが、目に見える成果となり、とても嬉しく思っています。みなさまからも多くのご支援をいただいたこと、改めて感謝申し上げます。2024年度も引き続き、人に投資する団体でありたいと思っています。それが、多くの子育て家庭のサポートにつながると信じて突き進みたいと思います。

認定NPO法人ノーベル 代表理事 長谷亜希(旧姓:高)

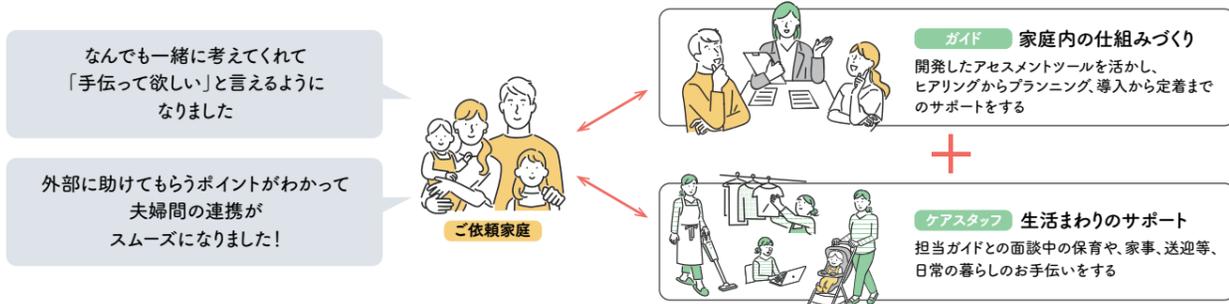
## 新事業「子育て家族のまるごとサポート」

### 子育て家族のまるごとサポート(通称まるサポ)とは?

子育てと仕事の両立でお困りの家庭に、本当に必要な支援とはなんだろう。さまざま調査からノーベルが出した結論は、その家庭の特徴を知り、お話を聞きながら子育て家庭の困りごとを見つけ、解決策と一緒に考え、解決できるように背中を押すことでした。

### 子育てをチームで支え、環境づくりをサポート

育児家事をスムーズにする家庭内の仕組みづくりや外部サービスのコーディネートを担当ガイドと、生活まわりをケアするスタッフがチームを組み、各家庭ごとのニーズに応じたサポートを提供します。単に、家事代行やシッターだけの第三者サービスを提供するだけでは意味がなく、困りごとをひも解き一緒に考え、意思決定のお手伝いが必要です。



### TOPIC

#### 頼りたいけど頼れない!その要因は「意思決定の複雑さ」でした

ノーベルが行った調査では、両立満足度に影響する主な要因は、「心身の余裕があること」「子どもとの時間、家事時間が十分に確保できていること」。時間捻出のために第三者サービスを利用する人は両立満足度が高い傾向にありました。また、利用していない人の中には、経済的余裕もあり、利用意欲も高く、リサーチもしているにもかかわらず、利用に至っていないケースが多くみられました。「なぜ利用しないのか」ノーベルはここに注目しました。利用するには日々のタスクを分解し、夫婦のニーズを明らかにして、我が家にあったサービスを探さなければなりません。そこにはとても多くの時間と労力が必要です。サービスを選ぶ段階で意思決定に関わる要素が複雑に絡み合い、意思決定を難しくしているのです。

#### 子育て支援サービス利用の意思決定に関わる要因



## 2023年12月、いよいよモニター向けテスト事業を開始 現場から見えてきた「多様なニーズ」と「共通の困りごと」

育児保育のご利用会員さまを対象にモニター家庭を募集。30組以上のご家庭から応募がありました。兄弟を育てるひとり親家庭、親の介護とのダブルケア家庭、多胎児出産間もない家庭等、切実な日々のお困りごとが伝わってきて、「助けが必要!」というまるサポへの期待の高さを感じました。

### 家庭の状況整理や意思決定を促すガイドの役割

担当ガイドは、面談を通じてそれぞれのご家庭の話をも深く聞き、お困りごとや「こうなりたい」という状態を確認し、ともに目標を設定。そのご家庭にあった情報や解決策を提案し、実行できるようサポートにあたります。一筋縄には進まないこともありますが、モニター家庭からは「話を聴いてくれるだけで救われる」「我が家の状況にあった情報提供がありがかった」「アドバイスのおかげで納得して進むことができた」などの声が届いています。

### サービスの幅を決めない!暮らしのサポート

「誰に何をどう頼んでいいかわからない」「既存サービスは決められたメニューしかしてもらえない」等の外部への頼りにくさを解消できるよう、暮らしのサポートは、サービスの幅を固定せず、各家庭のニーズにあわせた家事育児サポートを目指しています。平日夜の大人の手が足りない時のお手伝いから、母子のお出かけサポートなど、各家庭の目標に応じて、ガイド、ケアスタッフがチームを組み情報交換しながら、サポートに入っています。

### 現場に入り見えてきた多様さと第三者が入ることの可能性

夫婦による価値観の違い、対話の時間のなさ、成長によって変わる子どもとの関わり、日々の食事準備、家事がまわらないetc、どのご家庭も表面上は似たような困りごとを抱えています。しかし100家庭あれば100通りの解決アプローチがあり、意思決定は複雑で多様だということを痛感しています。ただその中でも、家庭に寄り添う第三者の存在が新たな風となり、親子に少しずつ変化をもたらし始めることも実感し、この事業の可能性を感じています。

### TOPIC

#### 子育て世帯の意思決定をサポートするアセスメントツールを開発中

意思決定支援について科学的ノウハウを持つCoBe-Tech株式会社とともに、子育て世帯の複雑なニーズを明らかにし、各家庭にあった解決策をよりスムーズにプランニングできる意思決定支援のシステム(アセスメントツール)を共同開発しています。質問に回答すると志向性や価値観など11タイプに分類されます。面談内容の分析など、提案や意思決定支援に活用します。

#### CoBe-Tech株式会社

2022年5月設立、大阪大学の行動経済学&認知行動科学ベンチャー。人と組織、社会のwell-being向上を科学的な行動変容技術でサポート。



### CASE 1

#### 双子出産後間もない未就学児4兄弟のご家庭

双子出産後の母の体を少しでも休めることを目的に、週2-3回、1回3時間半、スタッフ2名体制で6か月間、サポートを継続中。沐浴、ミルク等の乳児のお世話を中心としたサポートが、予防接種への同行、お風呂掃除や洗剤等のちょっとした家事のお手伝いも加わり、サポートの幅がひろがっています。

### 🗨️ モニターの声

子どもが吐き戻した衣類を洗う等、小さなタスクが無数にあるので、それをやってもらい本当に助かってます。以前「ふたり(双子)を見ておくので、外にお出かけしたらどうですか?」と言ってきて。買い物に行って、コーヒー飲んで一息つけました。なんでもやってくれるおばあちゃん、私のお母さんの存在です。いつも書いてくれている日誌(サポート記録)はきっと将来読んだら泣くんだろうなと思っています。

### CASE 2

#### 育休復帰に向けて夫婦の対話の場として活用

2人目を出産され、産後3か月目、両親そろって育休中のご家庭。2か月後の父の育休復帰に向けて、復帰後に母がしんどくならない環境を整えたいと、担当ガイドとの面談を4回実施しました。復帰後の1日のシミュレーション、夫婦での役割分担の整理、食事準備をラクにするための仕組みづくり等に取り組みました。

### 🗨️ モニターの声

夫婦でヒアリングを受けたので、家事育児に関することを冷静にパートナーに伝えられたし、聞くことができました。2人きりだと険悪になってしまいがちですが、第三者が入ってくださることで、前向きな話し合いになりました。面談で決まった自分たちのタスクも、ノーベルさんがいることで「次の面談までにちゃんと進めなきゃ!」と良い意味でプレッシャーになり(笑)進めることができました。

### CASE 3

#### 保育園から幼稚園への転園環境変化にスムーズに

3歳Hちゃんの幼稚園転園、放課後預かりのスクール入所を控え、急な環境変化を心配していた親御さん。スムーズに環境になじめるよう、週1-2回は暮らしのサポートを利用し、自宅でゆっくり過ごす時間を作ることに。幼稚園お迎え、自宅での保育、簡単な家事のお手伝いでサポートしています。

### 🗨️ モニターの声

家事育児の役割分担や生活リズム、大切にしたいことなど...あまり人に話すことがなかったので、話をゆっくり聞いてもらえて安心しました。話しているうちに自分でも整理できて、ここは改善できるな、外部に頼ってみよう等、意識がわかりました。4月以降、娘も心身ともにバランスを保っていますし、食事やお風呂まで済ませていただけ、夫婦ともに気が楽に過ごせています。

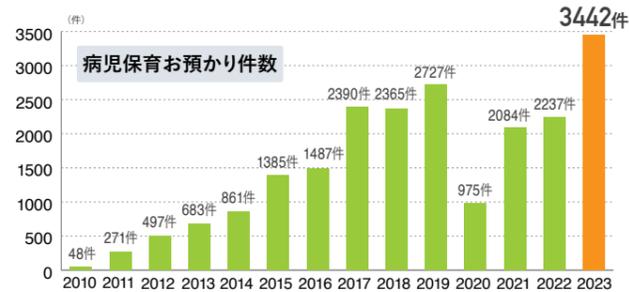
## 訪問型病児保育事業

### アフターコロナの影響を受けつつも、立て直しの光が見え始めた1年

新型コロナが感染症法上5類に移行後、病児保育のニーズはさらに増加。100%対応のお約束と保育の質向上、どちらも維持すると決め全スタッフが奔走しました。遂に年度末には、1年半続いた入会制限を解除することができました。

#### 感染症流行に体制強化で対応。過去最多のお預かり件数に

新型コロナが5類に移行され人々の生活が変化すると、子どもたちの感染症の流行傾向にも大きな変化が。ノーベルでは、過去のデータ等を見直し、より多くのご予約に対応可能な体制を整えることを決めました。その結果、病児保育は過去最多(前年度の1.5倍)のご依頼に対応。また、前年度から続いた入会制限も解除することができました。長期間お待ちいただいた方々にもご入会いただき、会員数は1,200名と大幅に増加しました。



#### 処遇改善とサービス向上のために価格改定を実施

10月には、質の高いサービスを安定的に供給するため、スタッフの処遇改善のために、病児保育サービス(基本パック)の料金体系の変更を発表しました。これまでも努力を重ねてまいりましたが、これからも長く事業を継続し発展させていくために価格改定という決断となりました。子育て世帯にとってはさまざまな生活費が高騰する状況で、決して簡単に受け入れられることではありませんが、会員さまからはご理解いただきあたたかいお言葉を多く頂戴しました。



#### 総合満足度 創業以来14年連続95%以上を維持

会員さまより毎年大変高い評価をいただいています。これは、現場の保育スタッフをはじめ、全スタッフが会員さまおひとりおひとりのために今できることを考え対応するノーベルのあり方と会員さまとの信頼関係があってこそその結果です。これからもこの信頼関係を深めていけるよう努力してまいります。

**会員さまの声**

前回も来ていただいたことがあり、娘のことをよく覚えてくださり成長と一緒に喜んでいただけて私も嬉しかったです。娘も1日本当に楽しかったようで、ノーベルさん大好き!と保育が終了してからもたくさん話をしてくれました。(その夜、スタッフ宛にお手紙を書いてくれました。)

## 担い手向け学び・つながり事業

### 自律して活動することが、保育者としてイキイキと働くことにつながると実感

2022年度から推進してきた、日々の学びつながるさまざまな活動が成果として実を結んだ一年でした。保育での出来事は、常に現場に解決の知恵があり、保育者同士で安心して意見を交わし共感、解決していくことで自信となっていきました。

#### 「スカッ!と委員会」が学び・つながりの実践の場として定着

多様な保育者が、安心して自身の経験や考えをシェアし、お互いの学びに繋げるためにはどうしたらよいか、試行錯誤の連続でした。その結果「グランドルール」を設け毎回出席者全員で確認。そして保育者同士で自律的に進んでいきます。困りごとのとらえ方や解決策等が活発に議論され、安心して集まれる場としてすっかり定着しました。フラットな関係性を築くと同時に、ノーベルが保育で大切にしていることが先輩スタッフから新人スタッフへ受け継がれる場ともなっています。



#### ノーベルの訪問型保育のノウハウが凝縮された「パターンランゲージ」の完成

経験豊富なノーベルの保育者だからこそ自然と身についている保育の「コツ」や「工夫」をひとつひとつ言語化し、体系的に25個にまとめた「パターンランゲージ」が、長い時間をかけてようやく完成しました。ここでは、パターンの説明やお子さんへの接し方に関するノウハウやアドバイスが詰まっており、自身の保育の振り返りやグループで対話することに活用していきます。この活動を通して、保育者が改めて学びを深めていくと同時に、日々の保育が親御さんやお子さんにとってどのような価値を生み出しているかを再認識する貴重な機会にもなりました。



No.3  
**ありのまま観察**

秘訣は“思い込みフィルターを外す”こと。

目の前の子どもをことごとく理解し、応えていきたいと思っています

## ノーベルの組織作り

### 丁寧な情報共有とコミュニケーションの実践で人材定着と、新事業挑戦を叶えた1年

既存事業の運営と並行して、新事業の立ち上げに向けた動きを加速させた2023年度。それを叶えたのは、スタッフの力の結集と、組織の安定があってこそでした。ここ3か年の各取り組みが連動し、肩書や役割を超えて、スタッフ同士が互いの仕事や考えを知り、リスペクトの姿勢でコミュニケーションをとれる組織に変化しました。23年度は過去最多の24名が入職。保育スタッフは保育者同士の学びとつながりの場「スカッ!と委員会」を通じて、本部スタッフは新たに導入した「オンボーディング6か月プログラム」を通じて、ノーベルのカルチャーや自身の役割を理解できる仕組みに。社内SNSや月1全社会議等、オンラインオフラインともに質の良いコミュニケーションが増加し、退職者数は対前年80%に留まり、大幅改善につながりました。

#### 2024年4月導入に向けて人事制度づくりを実施

23年春に人事制度設計プロジェクトのチームを発足。約1年をかけて制度設計を行いました。新たな挑戦を含む中長期計画の実現を目指し、①待遇改善 ②多様な働き方を包摂 ③学び・成長をサポートの3つを重視。同一労働同一賃金、ステップ(等級)制度、バッジ制度を導入しました。



制度の詳細はこちら

#### 本部スタッフ新入職者向けオンボーディングプログラム

事務職系スタッフの入職後の定着を目的に、6か月間のプログラムを導入しました。「業務を知る」「ノーベルを知る」「仲間を知る」の3つを軸に、1か月ごとに目標を設定。ノーベルの行動指針や文化を吸収しながら、6か月の見通しを持って、上司、OJT担当、新スタッフそれぞれが共通認識をもって業務にあたる環境を整えました。



「仲間を知る」の一環でランチチケット制度を導入。自チーム以外のメンバーともコミュニケーションをとれる機会に

#### 社内SNSが活発化 仲間を知るきっかけに

訪問保育という事業の特性上、直接会ってコミュニケーションを取れる機会は多くありません。業務連絡だけでなく、保育スタッフの学びの場「スカッ!と委員会」の報告レポートや、気になる情報、ノウハウ等、各自が自由に投稿し、また気軽にリアクションやコメントを残し、コミュニケーション・関係性構築の大切なツールになっています。



## 2023年度のファンドレイジング

### 新事業開始につながるご支援をいただきました

2023年度も、たくさんの皆様からご支援をいただきありがとうございました。今期からファンドレイジング体制を強化し、遺贈寄付の受け入れもスタートいたしました。また昨年度に引き続き、企業・団体の皆様からのご支援により、新事業「子育て家族のまるごとサポート」のスタートにつながりました。

寄付総額

22,559,133 円

### ドノ親子ニモ応援団 寄付で支える病児保育マンスリーサポーター



継続寄付者数	単発寄付者数	法人寄付	べんぎん団員 1,000円/月	ぼんだ団員 3,500円/月	しろくま団員 7,000円/月	くじら団員 10,000円/月
180名	延49名	28法人	102名	42名	23名	13名

#### サポート法人

●三井住友カード株式会社 ●住友ファーマ株式会社 ●The UK Online Giving Foundation ●一般財団法人H2Oサンタ ●株式会社ベネフィット・ワン ●ビーアールソフト株式会社 ●株式会社オールウィズ ●合同会社こつこつぶらす ●株式会社ライフウィズ ●日本マツサージ師支援協会 すまいるサポートCLUB ●ヤフー株式会社 ●NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク ●医療法人ラ・クオール会 ●億智栄法律事務所 ●フュージョン株式会社 ●キャリアアップ・ラボ株式会社 ●株式会社 ファミリー工房 ●株式会社blue ●株式会社イーモード ●京阪藤和法律事務所 ●阪急阪神百貨店労働組合 ●株式会社生命保険神戸支店 ●ソフトバンクモバイル ●株式会社ダイヤアクセス ●物産アニマルヘルス株式会社 ●DSファーマプロモ株式会社 ●SMPビジネスパートナーズ株式会社

### ご寄付による病児保育サポート実績

ひとり親家庭		スペシャルニーズっ子家庭	
23年度新規サポート者数	49名	23年度新規サポート者数	20名
23年度お預かり件数	105件	23年度お預かり件数	99件
累計サポート者数	426名	累計サポート者数	76名



### サポートを受けた会員さまの声

2人の幼児のひとり親として、働く時間を増やしたり、仕事の幅を増やす事は数年は困難だと諦めていましたが、ノーベルさんを利用出来るようになり、仕事面でも子どもに対する態度でも、以前より精神的にゆとりを持つことができます。(ひとり親家庭・Sさん)

アルバイトですので、休んだ分収入は減り、次に出勤した時に謝ってばかりで周りの冷やかな目が辛かったです。ノーベルを利用するようになって、職場への申し訳なさから解放され、肩身の狭い思いをせずのびのびと働けるようになりました。(ひとり親家庭・Yさん)

入会前の問い合わせにも丁寧に対応していただき、面談にも来ていただき、子どもの特性を見ていただき、ご説明も丁寧にしていただき、ありがたかったです。(スペシャルニーズっ子家庭・Mさん)

## ひとり親家庭特別インタビュー

Q. ノーベルを利用いただき、特に印象に残ったことはありますか？

A. ほかのベビーシッターだとあまり子どもも後から何も言わないのですが、「ノーベルさんと遊びたい!」と何度も言うていました。発達の特長もあり不安だったのですが、事前に面談も来てもらい、環境の変化もなく、普段の自分の好きなおもちゃを使って遊ぶので子どもにとっても負担なく過ごせたように思います。ウチの場合は離婚調停中という事情があってまだ籍は完全に分かれていないのですが、それでもひとり親プランに加入させていただき、最初の入口が低くなったおかげでこうして利用することができ、本当にありがとうございます。(兵庫県在住・Mさん)

Q. ノーベルを利用したことで、なにか生活に変化はありましたか？

A. これまでは、子どもが風邪を引かないように、食べるものに気を配ったり、体力がつくようになるべく歩かせたり、などずっと毎日気を張っていたと思います。ひとり親だと常に不安がつきまとうものなので、誰かに頼っていい、なにかあったときに助けてもらえる存在がいることが本当に精神的な安定につながっています。(大阪府在住・Iさん)



## 遺贈寄付の受け入れを開始

### ウェブページとガイドブック発行

遺贈寄付の受け入れを知っていただくために、遺贈寄付のウェブページを設けました。「遺贈寄付とは?」など多くの方が疑問に思うことを解説するガイドブックも作成し、遺贈寄付を身近に感じてもらう工夫をしました。遺贈寄付受け入れにより、必要なサポートを誰もが利用できるセーフティーネットへと広げていきます。



遺贈寄付ガイドブックの資料請求はこちら

### 士業や金融機関と連携し情報発信を開始

遺贈寄付の普及に取り組んでいる一般社団法人日本承継寄付協会様の冊子「えんギフト」に、掲載いただきました。冊子は全国の公証役場や士業事務所に設置され、多くの方にノーベルの活動を知っていただく機会となりました。



三井住友信託銀行株式会社様と遺贈寄付に関する提携を結びました。遺贈寄付の「提携先案内一覧」にノーベルが記載され、遺贈寄付先としてノーベルを選択することができるようになりました。



## ご寄付によって実現した今年度の取り組み



### 新事業「子育て家族のまるごとサポート」

キャッシュレス推進キャンペーンを実施いただき、約1年間ご支援いただきました。このご支援により、私たちが昨年11月に立ち上げた新事業「子育て家族のまるごとサポート」のモニター実施を行うことができました。



### 保育の担い手が学びつなげる環境づくり

2021年度に「Google.orgインパクトチャレンジ for Women and Girls」に採択され、今年も引き続き支援をいただきました。これにより「子育ての担い手さんがイキイクする土台をつくる」ための事業を進め訪問病児保育のパターンラングージ作成に至りました。



### 両立をサポートする保育の担い手育成

昨年に引き続き、新事業開発や家庭をサポートする担い手育成を目的として助成いただき、新事業「子育て家族のまるごとサポート」を今年度スタートさせることができました。



ご寄付・ご支援について

ノーベルには2種類のご寄付・ご支援方法があります。

#### 1.ドノ親子ニモ応援団プロジェクト

経済的な困難を抱える「ひとり親家庭」、お預かりに専門性が必要となる「スペシャルニーズっ子家庭」を対象に皆さまからのご寄付を財源にして病児保育サポートを届けています。

#### 2.ノーベルの活動全体を応援する

組織基盤づくり・採用・人材育成・さまざまなプロジェクト進行など、ノーベル全体の活動を応援したい、というありがたい多くの声をいただき、立ち上げたご寄付・ご支援方法です。

読み終えた本で寄付できる『チャリボン』もごさいます。ノーベルへのご寄付は、寄付控除の対象となり、確定申告により寄付額の最大4割が控除されます。

内容や方法については、ノーベルWebサイトで紹介しています。  
<https://nponobel.jp/donation/>



# 2023年度会計報告

## 2023年度貸借対照表

科目	金額(単位:円)	
<b>I 資産の部</b>		
1.流動資産		
現金預金	88,529,858	
特定預金	44,675,196	
売掛金	13,072,459	
立替金	20,324	
前払費用	3,650,786	
未収入金	2,622,040	
流動資産合計		152,570,663
2.固定資産		
(1)有形固定資産	100,644	
(2)無形固定資産	0	
(3)投資その他の資産	3,965,480	
固定資産合計		4,066,124
資産合計		156,636,787
<b>II 負債の部</b>		
1.流動負債		
未払金	10,477,139	
未払費用	2,561,314	
未払法人税等	70,000	
未払消費税等	200	
前受金	225,107	
預り金	3,281,378	
借受金	27,216	
流動負債合計		16,642,354
負債合計		16,642,354
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産	172,517,889	
当期正味財産増減額	△32,523,456	
正味財産合計		139,994,433
負債及び正味財産合計		156,636,787

## 2023年度活動計算書

科目	金額(単位:円)	
<b>I 経常収益</b>		
1.受取寄付金	22,559,133	22,559,133
2.受取助成金等		
受取民間助成金	2,400,373	
受取補助金	12,487,333	14,887,706
3.事業収益		
保育事業収益	111,973,689	111,973,689
4.その他収益		
受取利息	1,367	
雑収益	132,557	133,924
経常収益計		149,554,452
<b>II 経常費用</b>		
1.事業費		
(1)人件費	116,964,318	
(2)その他経費	48,507,050	165,471,368
2.管理費		
(1)人件費	11,847,333	
(2)その他経費	4,745,038	16,592,371
経常費用計		182,003,739
当期経常増減額		△32,449,287
<b>III 経常外費用</b>		
雑損失	3,969	
経常外費用計		3,969
税引前当期正味財産増減額		△32,453,256
法人税、住民税及び事業税		70,200
当期正味財産増減額		△32,523,456
前期繰越正味財産額		172,517,889
次期繰越正味財産額		139,994,433

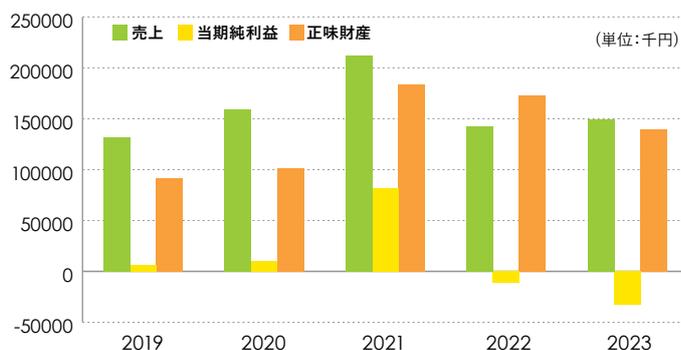
## 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は139,994,433円であり、下記に掲げるもの以外はすべて使途の制約されていない正味財産です。(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
Google.org Impact Challenge for Women and Girls	54,845,947	147	12,014,359	42,831,735	
CHANEL財団	28,679,314	1,507,400	30,186,714	0	
ロート製薬㈱	1,500,000		1,500,000	0	
三井住友カード株式会社	0	3,163,656	1,320,195	1,843,461	
合計	85,025,261	4,671,203	45,021,268	44,675,196	

## 2019~2023年度の推移(売上/当期純利益/正味財産)

年度	売上	当期純利益	正味財産
2019年度	131,464,159	6,347,059	91,357,565
2020年度	159,153,645	10,279,875	101,637,440
2021年度	212,524,268	82,073,138	183,710,578
2022年度	142,203,499	△11,122,483	172,517,889
2023年度	149,554,452	△32,523,456	139,994,433



2023年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、それと同時に問い合わせが増えました。年間を通して複数の感染症が流行したこともあり、稼働が増え、事業収益は増加しました。しかし、保育スタッフ人件費、採用コスト、新規事業への投資が増えておりますので、最終損益は赤字となっております。しかしながら、保育満足度は高い数値を維持しておりますので、翌期以降は今期の投資が戻ってくると予想しております。(顧問税理士/税理士法人ゆびすい京都支店 支店長 矢部恭章先生)